

# 2019 山梨宣言

## 大会テーマ「語り場から始まる子育てプラットフォームづくり」

子どもの教育・保育とその家庭支援とを一体的に推進する「子ども・子育て支援新制度」が施行されて5年目となりました。1.57 ショック（1989）以来の30年間に我が国の子ども・子育て支援に関する制度は、大きく前進し、充実してきました。しかし、「子どもの貧困」「児童虐待」「発達障害等の特性による生きにくさ、育てにくさを抱える家庭」の増加、「地域社会の関係性の希薄化」等による子育て家庭の孤立や子育ての不安感・負担感の増加等、子どもの育ちの課題、子育て家庭の課題はますます幅広く、より深刻になっています。

「第10回子ども・子育て支援全国研究大会」の学びを通して、具体的な子どもの育ちや子育て家庭の課題を前にして子ども・子育てに関わる様々な組織・団体が単に形式的な連携に止まらず、それらの構成員が個々に繋がり合うこと＝子育てプラットフォームの取り組みが必要であると確認しました。

改正（2016）児童福祉法は、「児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育てることについて第一義的責任を負う。」と規定し、更に、子ども・子育て支援法は「子ども・子育て支援は、家庭、学校、地域、職域その他のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行わなければならない」と規定します。私たちは、全ての児童の保護者が喜びと希望とに溢れてその第一義的責任を果たすことができる社会を実現するため、次のことを確認し、それぞれの地域で子育てプラットフォームづくりの起点となることをここに宣言します。

### 1 私たちは子育てプラットフォームづくりを進めていきます。

「親子にとってより良い地域づくり」である子育てプラットフォームづくりにより、一人ひとりの子ども、子育て家庭の課題解決に取り組みます。

### 2 私たちは最新の科学的知見に学びつつ教育・保育、子育て支援に取り組みます。

1日11時間が標準時間の保育現場においてアタッチメントを育む0～2歳児保育のあり方は喫緊の課題です。生物進化の過程でヒトのみが継承してきた共同養育の現代的あり方を追求します。

### 3 私たちはストップ虐待！「親を加害者にしない」支援を進めていきます

令和元年を「ストップ虐待 体罰撲滅元年」として、わが国の子育て文化から体罰を無くし、虐待の世代間連鎖を断つよう努めます。

2019年11月29日

第10回子ども・子育て支援全国研究大会 参加者一同